



## ご挨拶（日本ログハウス協会会長／芳賀沼養一）

### 建築物の木造化・木質化の可能性と課題

我が国は、森林資源という再生可能な資源を豊富に有しており、またそれらを育む恵まれた気候風土があります。昨今では、低炭素・脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現を鑑みて、樹木のCO2吸収効果が大きく着目され、森林資源（木材）の有効活用が期待されています。

建築物に木材を使用することは、一度に大量の樹木を活用することができ、また、長期間炭素を固定化することが可能です。木造建築は、コンクリート造や鉄骨造の建物に比べれば、製造における炭素排出量はとて少なく、炭素の固定量は約4倍程度あります。

日本各地の建築物において、木造化・木質化が推進されることで、地域の森林資源の価値が高まり、林業を川上とした地域産業の活性化につながっていくと強く信じています。一方で、建築物の木造化・木質化は、地震・台風・火災等の自然災害への対応や大工不足を鑑みた技術開発等、多くの課題がありまだまだ発展の余地を多く秘めています。

一般社団法人日本ログハウス協会としましては、上述の状況を踏まえて、皆様のお役に立てるよう邁進してまいります。

## Topics 1 技術委員会より建設キャリアアップシステムについてのお知らせ

### 建設キャリアアップシステムの概要

建設業が将来にわたって、その重要な役割を果たしていくためには、現場を担う技能労働者（技能者）の高齢化や若者の減少といった構造的な課題への対応を一層推進し、建設業を支える優秀な担い手を確保・育成していく必要があります。

そのためには、個々の技能者が、その有する技能と経験に応じた適正な評価や処遇を受けられる環境を整備することが不可欠です。

建設業に従事する技能者は、他の産業従事者と異なり、様々な事業者の現場で経験を積んでいくため、個々の技能者の能力が統一的に評価されにくく、現場管理や後進の指導など、一定の経験を積んだ技能者が果たしている役割や能力が処遇に反映されにくい環境にあります。

こうしたことから、技能者の現場における就業履歴や保有資格などを、技能者に配布するICカードを通じ、業界統一のルールでシステムに蓄積することにより、技能者の処遇の改善や技能の研鑽を図ることを目指す「建設キャリアアップシステム」の構築に向け、官民一体で取り組んでいるところです。

建設キャリアアップシステム普及推進のために国土交通省は、建設工事分野特に木造大工について、下記団体に普及促進ために協力要請をしております。

(一社)JBN・全国工務店協会・全国建設労働組合総連合・(一社)日本木造住宅産業協会  
 (一社)日本ツーバーフォー建築協会・(一社)全国住宅産業地域活性化協議会  
 (一社)日本ログハウス協会・(一社)プレハブ建築協会

問い合わせ先

一般財団法人 建設業振興基金

ホーム: [建設キャリアアップシステム \(ccus.jp\)](http://ccus.jp)

# 次ページパンフレットを御覧ください

建設業の今とこれからをみんなで支える

概要編

# 建設キャリアアップシステム



建設業の魅力向上にむけて

技能者一人ひとりの  
「技能」と「経験」を  
しっかりと「認め」「育てる」仕組みです

point  
①

## 技能者の 処遇改善

- カードをタッチしたりモバイルを使って、就業履歴を蓄積。
- 技能者の賃金アップや建退共で退職金を積み立てて、処遇の改善を実現します。



point  
②

## 明確な キャリアパス

- 技能者の「技能」と「経験」を4種類のレベル分けで評価。
- 業界共通の仕組みで、レベルアップが見通せて、若い人たちに選ばれる業界となります。



point  
③

## 施工能力の 見える化

- 優秀な技能者を育てる事業者として施工能力のアピール。
- 仕事の増大につながります。
- 「人材を大事にする企業」であることをPR。
- 担い手の確保ができます。



### 技能者を評価する仕組み






- 評価基準に合わせて4種類に色分けされた(白 → 青 → 銀 → 金)カードを交付して評価。

### 事業者の施工能力の見える化を進める仕組み

- 所属する技能者の人数・評価。
- 施工実績、建機の保有状況。
- コンプライアンス、社会保険加入状況などで評価。

## 建設キャリアアップシステムは、2023年度を目標として、あらゆる工事で完全実施！

### 就業履歴の蓄積にはシステムへの登録が必要です

	システムへの登録	現場の登録と就業履歴の蓄積
<b>技能者</b> 	 技能者にカードが交付されます ●登録はインターネットや窓口で申請が可能です。	 ●現場に設置されたカードリーダーなどでカードを読み取り、就業履歴を蓄積します。 ●元請・下請が協力して施工体制や作業員名簿を登録します。(作業員名簿の登録は、技能者のレベル評価に必須です) ●元請が現場を登録しカードリーダーを設置します。
<b>事業者</b> 		 IDとパスワードでログイン ●情報を閲覧画面でチェックしたり、帳票の出力ができます。

### 登録の代行申請をおすすめします！

- 代行申請により、技能者本人から同意を得た事業者が、技能者の登録申請を行えます。また同様に、同意を得た事業者が他事業者の代行申請も可能です。
- 新規登録には、早くて安心な窓口(認定登録機関)がおすすめです。

### 技能者のメリット



- カードのレベルアップで処遇改善
- 若い人たちは明確な目標でモチベーションアップ
- 将来的にはカード1枚で資格証の持参が不要
- 仕事の記録を貯めて実力を証明

### 事業者のメリット



- 技能者を育てると施工能力評価がアップし、仕事が増大
- 現場の事務作業が省力化できる
- 担い手となる若い人にアピールできる
- 公共工事の入札で評価アップ

「ピッ!」とカードをタッチすると、  
建退共で退職金の掛金310円が  
積み立てられます。

電子申請により、掛金の納付がより確実に実施されます。

元請、下請事業者の事務作業が大幅に軽減します。



CCUSの利用料金には、「技能者登録料」、「事業者登録料」、運用時に事業者にお支払いいただく「管理者ID利用料」、「現場利用料」があります。



Topics2 Mマーク金物 スクリュージャッキについてのお知らせ

協会で作成したMマーク金物のスクリュージャッキがあります。  
 株式会社ゲストハウス様に販売の管理をしていただいていたのですが、在庫販売をお願いしていたところが継続できなくなってしまった為、国内在庫をわずかに残してフィンランドの工場に送る予定となっていました。  
 もし、必要であれば取り置きしていただけるとのことですので、ご入用の方は株式会社ゲストハウス様までご連絡をお願いいたします。

連絡先 株式会社ゲストハウス 03-5282-3422 担当 上田

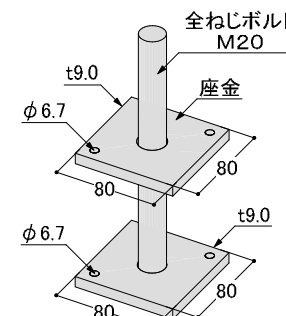
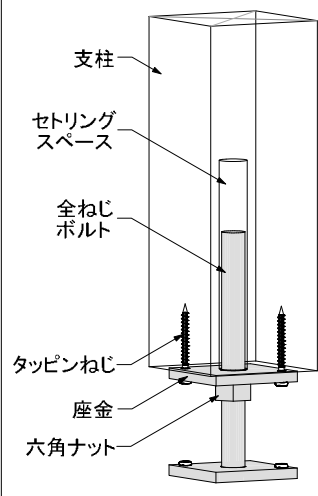
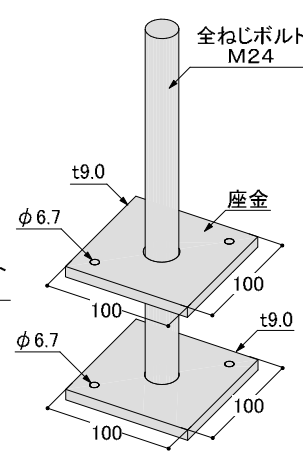
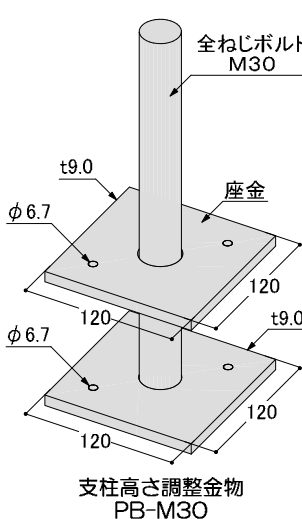
 ログハウス用「支柱高さ調整金物」を規格化！

(公財) 日本住宅・木材技術センター

当センターは、(一社) 日本ログハウス協会の要望を受けて丸太組構法用の支柱高さ調整金物をMマーク表示金物規格に追加しました。

この金物は、支柱の脚部に取り付けることによって、丸太組壁の収縮に対応した高さ調整を六角ナットによって行うことができます。

支柱高さ調整金物は3種類あり、支柱の断面に応じて使い分けます。

種類・記号・形状・寸法 (単位: mm)	取り付け								
 <p>全ねじボルト M20</p> <p>座金</p> <p>t9.0</p> <p>φ6.7</p> <p>80</p> <p>80</p> <p>支柱高さ調整金物 PB-M20</p>	 <p>支柱</p> <p>セtringスペース</p> <p>全ねじボルト</p> <p>タッピンねじ</p> <p>座金</p> <p>六角ナット</p> <p>この金物は、鉛直荷重のみの支持以外は使用できません。                      この金物は、下表のとおり金物の種類に応じて支柱の適応断面が異なります。</p> <table border="1"> <caption>支柱の適応断面</caption> <thead> <tr> <th>金物の記号</th> <th>断面(目安)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PB-M20</td> <td>105~120mm</td> </tr> <tr> <td>PB-M24</td> <td>105~150mm</td> </tr> <tr> <td>PB-M30</td> <td>120~190mm</td> </tr> </tbody> </table>	金物の記号	断面(目安)	PB-M20	105~120mm	PB-M24	105~150mm	PB-M30	120~190mm
金物の記号		断面(目安)							
PB-M20		105~120mm							
PB-M24	105~150mm								
PB-M30	120~190mm								
 <p>全ねじボルト M24</p> <p>座金</p> <p>t9.0</p> <p>φ6.7</p> <p>100</p> <p>100</p> <p>支柱高さ調整金物 PB-M24</p>									
 <p>全ねじボルト M30</p> <p>座金</p> <p>t9.0</p> <p>φ6.7</p> <p>120</p> <p>120</p> <p>支柱高さ調整金物 PB-M30</p>									

Topics 3 普及推進委員会メンバー紹介

日本ログハウス協会 普及委員会のメンバーをご紹介します。

委員長



有限会社 土倉製材所  
土倉 宜也

皆様に役立つ情報と皆様に役立つ情報や、活動の内容等、少しでも多くの事をお伝えできればと思っております。  
同じ協会の仲間として、横のつながりや、情報の交換等を積極的に行いたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

副委員長



株式会社キハタトレーディング  
喜畑 善斗

様々な方にログハウスの良さを知っていただけるように、微力ながらお手伝いさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

副委員長



株式会社ホンカ・ジャパン  
小俣 あけみ

今年度より、普及委員会のメンバーとなりました株式会社ホンカ・ジャパンの小俣です。  
ログハウスに携わる者としてだけでなく、ログハウスに住む主婦としてもその魅力を皆様にお伝えしていきたいと思っております。  
どうぞよろしくお願い致します。

委員



株式会社ビ・ポーン  
河西 俊輔

株式会社ビ・ポーンの河西です。ログハウスの素晴らしさを多くの方に伝え、ログハウスの普及発展に貢献できればと思います。どうぞよろしくお願い致します。

委員



株式会社TALOインターナショナル  
八重澤 恵

ログハウスの魅力をたくさんの方々に知っていただけるよう尽力いたします！  
宜しくお願いいたします。

委員



株式会社ゲストハウス  
鎌田 菜保

この度、普及委員会のメンバーとなりましたゲストハウスの鎌田です。  
家での過ごし方を見直すきっかけとなっている昨今の状況を追い風に、より多くの方にログハウスの魅力をPRできればと思っております。  
どうぞよろしくお願い致します。

普及推進委員会ではログハウス建築コンテストの開催・コンテスト受賞作品の動画撮影等、ログハウスの普及と会員の皆様に有益となる様々な活動を企画・運営させていただきます。

メンバーから会員の皆様にご連絡させていただく事もありますので、その際は是非ご協力をお願いいたします。

発行

一般社団法人 日本ログハウス協会 事務局

東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 1F

TEL ■ 03-3588-8808

FAX ■ 03-3588-8829

Email ■ [info@loghouse.jpn.com](mailto:info@loghouse.jpn.com)

<http://www.loghouse.jpn.com/>